

(学年)第2学年、(教科・科目) 商業 簿記

一斉学習

(単元) 約束手形の記帳

(本時のねらい)

記帳に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適正な会計帳簿の作成について、組織の一員としての役割を果たすことができるようになる。債権・債務と有価証券について、手形の取引である「約束手形」の仕組みや必要性について学び、基礎的・基本的な知識を身に付け、どのように処理をするかを理解する。

(ICT 活用方法)

一人一台端末を活用し約束手形を使った時の条件等について調べる。約束手形の仕訳を電子黒板により説明する。問題の解答を電子黒板に投影し、クラスの生徒全体にフィードバックする。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・約束手形の特徴を確認する。	・本時の目標を確認する。	・一人一台端末を活用し約束手形を使用する際の条件等について調べる。
展開 40分	・基本的な約束手形の仕訳を理解させ、その記帳方法を習熟させる。 ・仕訳問題を解く。	・約束手形の仕訳をプレゼンテーションソフトによる説明を聞きながら理解する。 ・仕訳問題を解き、発表者は一人一台端末を使い発表する。	・電子黒板に解説を映し出しながら説明する。 ・一人一台端末と電子黒板を利用し、映し出しながら発表する。
まとめ 5分	・本時のまとめを説明する。	・本時の学習内容を簡潔に説明する。	

(授業の様子)



電子黒板による説明



電子黒板による発表

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

一人一台端末や電子黒板の利用により、授業の幅が大きく広がり、生徒たちの興味・関心も高まり動機付け・意欲等も向上した。学習内容における多くの説明が、電子黒板で出来るようになり、板書する機会・ノートを取る機会が減り、数多くの問題に取り組むことができた。